

仕様書

（業務名）

乗合バス事業の共同運営化等に向けたデータ分析等業務（以下「本業務」という。）

（目的）

本業務は、広島市の持続可能なバスネットワークの構築に向けて、広島市北部方面におけるバスの共同運営の実施等に向けた検討やゾーン運賃制度などの新たな運賃制度の実現可能性等を検証することを目的とする。

（履行期間）

契約締結の日から令和9年1月31日までとする。

（業務範囲）

- ①北部方面の共同運営の実施に向けた検討：北部方面路線沿線（広島市中区八丁堀～広島市安佐北区安佐町ほか）
- ②新たな運賃施策の検討：広島市内一円（一部近隣市町を含む）

（業務内容）

1 共同運営の実施に向けた検討

（1）現況整理・データ分析

広島市北部方面の共同運営化の検討に活用するため、広島市及び関係バス事業者等から提供される利用状況データや運行頻度・運行間隔、運行資源等に係るデータを整理・分析する。

（2）北部方面路線の共同運営化等に向けた検討

広島市北部方面において想定される共同運営パターン（共同運行、路線統合、施設共同利用等）を作成し、各パターンを実施した場合の収支、利用者等への影響を検証し、共同運営化に当たって課題となる内容及びその対応案、段階的な実施方針を検討する。

合わせて、その他北部方面路線の持続性向上施策として、共同運営化と連動して実施することが効果的な乗継拠点等のハード面の整備や乗継割引・通算運賃・ゾーン運賃等の運賃施策について検討を行い、実施に必要な費用や収支シミュレーション等を実施する。

2 新たな運賃施策の検討

（1）現行運賃制度の整理、データ分析

新たな運賃制度の検討に向けて、現行運賃制度（均一運賃区間、対キロ区間等）の構造や各方面ごとの運賃水準、定期・割引制度の状況や運賃施策の他都市事例を整理するとともに、各事業者の収支状況等のデータ分析を行う。

（2）ゾーン運賃制度の検討

現行運賃制度の現況やデータ分析状況、他都市事例を踏まえ、ゾーンの区分パターンの検討を行う。ゾーン設定方法の検討に当たっては、バス路線の現況や生活圏・鉄軌道駅・主要拠点、既存運賃区界との整合性、利用者にとってのわかりやすさ等を総合的に勘案するものとする。

また、設定したゾーン区分パターンに応じて、収支シミュレーションや利用者への影響分析を実施し、ゾーン運賃導入にあたって課題となる内容及びその対応案を検討する。

課題例：運賃システムへの対応（定期券対応、割引の導入を含む）、市民・利用者への説明方法、他モード（路面電車、アストラムライン、JR等）との連携可能性、収入影響の抑制方法、段階導入の可否、近距離利用の促進施策等

(3) ダイナミックプライシングの検討

特定の時季や時間帯でのダイナミックプライシングを導入した場合の収支シミュレーションを実施し、課題となる内容及びその対応案を検討する。

3 関係機関協議資料の作成

バス事業者及び地元関係者との協議に必要な説明資料の作成を行うこと。

4 打合せ協議

業務遂行に際して、業務着手時、中間時（3回）、成果品作成時で打ち合わせを予定しているが、発注者が必要と判断した場合は随時実施する。

(成果品)

本業務の成果品は、以下のとおりとする。

- (1) 業務報告書
- (2) データ分析資料（集計表、基礎データ（CSV形式等）、GISデータ等）
- (3) その他（発注者が指定した場合）

(特記事項)

受注者は上記のほか、以下の項目を遵守すること。

- (1) 本業務を適正かつ円滑に実施するため、発注者と連絡を密接にとりながら作業を進めるとともに、作業内容等の報告を行うこと。特に、可視化図の作成に当たっては、作業の初期段階において見本を発注者へ提示するなどし、認識の相違がないか確認を行うこと。
- (2) データの集計等に用いた作業手法や算出過程等については、業務報告書に記載すること。
- (3) 成果品に誤りがあった場合、又は精度に欠けると発注者が認める場合は、速やかに修正を行うこと。
- (4) 貸与データについて、情報漏洩などがないよう管理を徹底すること。

対象エリア図(北部方面路線沿線)

